

～ともに学び、ともに育つ～

●セルフコーディネーター

大学の授業では、ノートテイク、パソコンテイク、手話通訳が必須で、基本的に聴覚障害学生自身がそれらをセルフコーディネーターし、授業担当教員の協力・配慮を求めています。障害学生支援センターは、受講支援学生を募集したり、技術スキルアップの講座を開いたりするなどして支援コーディネーターをしています。

●学生ボランティアによる支援

PCT (パクト) →聴覚障害学生の講義でパソコンテイクを中心に活動をしています。

1年生向けの練習会も実施し、支援者妖精にも力を入れています。

くまじ →講義用の映像教材などに字幕をつけ、聴覚障害学生をサポートしています。年間に30本以上の教材に空きコマを利用して字幕付けを行っています。



(2015年～キャンパス配置図)

<聴覚障害学生数>

| 美浜 | | 半田 |
|-----|------|----|
| 美浜 | 東海移転 | 半田 |
| 27人 | 1人 | 6人 |

<支援学生数>

| 美浜 | | 半田 |
|------|------|-----|
| 美浜 | 東海移転 | 半田 |
| 240人 | 10人 | 48人 |

新キャンパスの支援体制を考えています。

★新キャンパスの概要

2015年度から経済学部、国際福祉開発学部が美浜キャンパスから東海キャンパスへ移転する。また、看護学部が新たに設置される。

東海キャンパスは施設のバリアフリーに関しては美浜キャンパスの比ではなく充実しているが、支援スペースは狭くなる恐れがある。

★支援に必要なことを出しました (6月 施設点検・10月 学長を囲む会)

新キャンパスにも支援センターを設立し、継続的にオリエンテーションを開いていく。

支援機器の要望や講義室の環境の整備 (コンセントの位置、IT環境)

各キャンパスの聴覚障害学生にどういった支援を必要としているのか情報交換する場を設ける。



必要な設備は？

心のバリアフリーも必要

ひとつのキャンパスで全ての支援を確保できるのかな…



他のキャンパスで誰が支援を必要としているのか分からない！

問合せ先: 日本福祉大学障害学生支援センター
E-mail: support-c@n-fukushi.ac.jp